

国立大学法人琉球大学の達成すべき 業務運営に関する目標（中期目標）

平成21年3月30日（変更）

国立大学法人琉球大学 中期目標

(前文) 大学の基本的な目標

(基本理念)

琉球大学は、「自由平等・寛容平和」という建学の精神を継承・発展させて、「真理の探求」、「地域・国際社会への貢献」、「平和・共生の追求」を基本理念とする。

(大学像)

21世紀という地球化の時代を迎えて、本学の基本理念から出てくる大学像は、「地域特性と国際性を併せ持ち、世界水準の教育研究を創造する大学」であり、具体的には次の5点にまとめられる。

- ①熱帯・亜熱帯の地域特性に根差した世界水準の教育研究拠点大学
- ②アジア・太平洋地域との交流を中心として世界に開かれた国際性豊かな大学
- ③教育研究の成果を地域に還元しつつ、社会の発展のために貢献し連携する大学
- ④沖縄の歴史に学びつつ、平和・寛容の精神を育み世界の平和と人類の福祉に貢献する大学
- ⑤人類の文化遺産を継承発展させ、自然との調和・共生を目指す大学

(人材像)

本学は、社会に対して有為な人材を育成することを高等教育の使命と認識し、普遍的価値を守る責任ある市民となるべき学生に対して優れた教育を行い、次の特性を有する人材を育成する。

- ①地域及び広く社会に貢献する人材
- ②国際的に通用する外国語運用能力と国際感覚を有し、国際社会で活躍する人材
- ③意欲と自己実現力を有する人材
- ④豊かな教養と専門性を併せ持ち総合的な判断力を有する人材
- ⑤沖縄の歴史に学び、世界の平和及び人類と自然の共生に貢献する人材

(長期目標)

本学の建学以来の伝統と基本理念に基づき、教育を重視する大学としての姿勢を堅持しつつ、世界水準の研究を推進する。また、地域社会や国際社会のニーズに応え、積極的に活躍する優れた人材を育成するために、本学はアジア・太平洋地域における卓越した教育研究拠点としての大学づくりを目指す。そのための長期目標を次のように定める。

- ①世界水準の教育の質を保証し、21世紀の地球化に対応しうる大学を確立する。
- ②地球化に対応するため、国際語としての英語による授業を重視する。
- ③基礎研究を重視しつつ、沖縄の地域特性を踏まえた世界水準の研究を戦略的に推進し特化させる。
- ④地域及び国際社会に貢献し連携を推進するという建学以来の伝統を継承・発展させる。
- ⑤資源を戦略的に配分する知のコーポレーションとしての大学運営を実現する。

I 中期目標の期間及び教育研究上の基本組織

- 1 中期目標の期間 平成16年4月1日～平成22年3月31日

2 教育研究上の基本組織

この中期目標を達成するため、本学に別表に記載する学部、研究科を置く。

II 大学の教育研究等の質の向上に関する目標

1 教育に関する目標

(1) 教育の成果に関する目標

(学士課程)

本学の基本的目標に掲げる人材を育成するため、学士課程の基本的教育目標を以下のとおりとする。

- 1) 本学の伝統的教育システムを活かしつつ、勤勉性及び創造性を育み、豊かな教養と専門的知識を身につけさせる。
- 2) 国際社会に貢献すべく、多様な文化の理解に努め、外国語（特に英語）による発表・討論能力の向上を図る。
- 3) 情報社会に対応するため、情報技術活用能力の向上を図る。

(大学院課程)

本学の基本的目標に掲げる人材を育成するため、世界水準の教育を推進し、研究者及び高度専門職業人を養成すべく大学院カリキュラムの充実を図る。

(全学的な目標)

教育研究組織を全学的に見直し、本学の理念・地域特性及び社会的ニーズに対応した教育研究を推進する。

(その他の目標)

大学文化の薫り高いキャンパスを目指す。

(2) 教育内容等に関する目標

(学生受入れ方針に関する目標)

- 1) 本学の入学者受入れ方針（アドミッション・ポリシー）に合致する学生を積極的に受け入れる。
- 2) 外国語（英語）能力を重視した入試を実施する。
- 3) 学部・学科制度と学生の志望とのミスマッチの解消を図る。

(教育理念等に応じた教育課程)

全学及び各学部・学科の理念及び教育目標に即した適切な授業を提供する。

(授業形態、学習指導法等に関する目標)

- 1) 各学部・学科の特性や各授業科目の特性に合った適切な授業方法を実施する。
- 2) 各学部・学科で適切なカリキュラム履修指導を行う。

(適切な成績評価)

学生の学習成果を適切に評価する。

(3) 教育の実施体制等に関する目標

- 1) 策定した教育目的・目標の実現を図るために必要な教育体制及び教育支援体制を整える。
- 2) 図書館の活用度を高める。
- 3) 情報ネットワークを活用するためのシステムを整備する。
- 4) 教育の質を向上させるための委員会を整備し、適切に機能させる。
- 5) 教員の教育能力を向上させるためのシステムを整備する。
- 6) 教育の質を向上させるため、全国共同教育、学内共同教育等を推進する。

(4) 学生への支援に関する目標

- 1) 学生の希望や意見を適切に把握し、大学運営に迅速に反映させる。
- 2) 就職指導體制の整備を図り、就職支援を強化して、1，2年次から就職意識を喚起する。
- 3) 学生の心身の健康増進を支援する。
- 4) 学生の経済的支援を行う。
- 5) 社会人・留学生・障害のある者の修学環境を充実する。

(学習支援)

学習に関する環境や相談の体制を整え、学習支援を効果的に行う。

(生活支援)

教育支援組織の整備充実を図る。

2 研究に関する目標

(1) 研究水準及び研究の成果等に関する目標

- 1) 沖縄の地域特性を踏まえつつ、最先端の特色ある研究を重点的に推進し、熱帯・亜熱帯科学、島嶼・海洋科学で世界をリードする研究拠点の形成を目指す。
- 2) 総合大学として基礎的研究と特化研究との調和を図る。
- 3) 研究の推進にあたっては、各々の専門分野の重点化を図りつつ、総合的視点に立った研究領域の柔軟な再構築を図り、かつ学部等の枠組みを越えた学際的研究プロジェクトを重点的に推進する。
- 4) 社会との調和の取れた複合的研究を推進するために、人文社会科学系の研究を充実し、自然科学と人文社会科学との融合型の研究を推進する。
- 5) これらの研究成果を単に学術的成果に止めず、地域の産業の創出に結びつく産学連携研究に発展させ、地域社会に還元するとともに、隣接するアジア・太平洋地域等における国際貢献に応用・寄与する。
- 6) 的確な評価に基づく資源配分を含む競争的研究環境を積極的に導入し、質の高い研究を展開する。

(2) 研究実施体制等の整備に関する目標

- 1) 大学の個性化を目指す研究組織・体制の戦略的見直しと整備を行う。また、競争的環境のもとで部局横断型の全学的研究プロジェクトを組織し、それらに重点的資源配分を行い、高い水準の研究を推進する。
- 2) 研究環境の整備、効率化に向け、個々の共同利用施設を有機的に統合し、研究支援基盤を総合的に整備する。それらに共同研究スペースを設け、流動的研究環境のもとで特化型プロジェクト研究を推進する。
- 3) 全学的な教育研究評価組織を強化し、教員の研究実績の把握とそれら評価結果をもとに特化研究の重点的推進や戦略的資源配分を行うなど、インセンティブに富んだ競争的環境に的確に反映させる。

3 その他の目標

(1) 社会との連携、国際交流等に関する目標

- 1) 本学の基本理念に基づき、社会との連携を積極的に推進する。
- 2) 本学の基本理念を踏まえ、アジア・太平洋地域を中心とした国際社会との交流連携を推進する。

(2) 医学部附属病院に関する目標

(理念)

病める人の立場に立った、質の高い医療を提供するとともに、国際性豊かな医療人を育成する。

(基本方針)

- ①生命の尊厳を重んじた全人的医療の実践
 - ②地域における保健・医療・福祉の向上に対する貢献と関連機関との連携
 - ③先端医療技術の開発・応用・評価
 - ④国際性豊かな医療人の育成
- 1) 患者サービスの向上
患者を中心とした医療を促進するとともに、高度先進医療を推進する。
 - 2) 良質な医療人の養成
 - ①医学部学生・大学院生、看護学生、コ・メディカル学生の教育と実習及び卒後臨床研修を充実させる。
 - ②臓器別専門医、総合診療医及び専門・認定看護師を育成する。
 - 3) 研究成果の診療への反映や先端的医療の導入
臨床研究支援の診療体制を構築するとともに、先端医療技術（診断及び治療）の開発と提供を行う。また、国際的共同研究及び地域特性における医療・保健・福祉の連携システムを確立する。
 - 4) 適切な医療従事者等の配置
病院長のリーダーシップの強化と、支援体制の整備をする。

- 5) 説明責任
点検・評価を充実させる。
- 6) 経営の効率化
診療報酬請求額に係る収入の確保及び自己収入の確保と予算の効率的な執行を図る。
- 7) その他の目標
安全管理体制と危機管理体制を構築し、診療・教育・研究のための環境整備を推進する。

(3) 附属学校に関する目標

- 1) 教育学部と連携を図り、教育に関する先験的・実践的研究を推進する。
- 2) 附属学校における研究の趣旨を生かした教育実習を創造し、附属学校における実習をさらに意義あるものにする。
- 3) 地域における公立学校の教育の充実に貢献する。
- 4) 学校運営の改善を図る。
 - ①児童生徒の入学選抜方法の改善を図る。
 - ②教育課程の円滑な運営を推進する。
 - ③小中一貫教育の充実を図る。
 - ④開かれた学校運営を推進する。
 - ⑤児童生徒の安全管理の徹底を図り、安心して学べる環境づくりを推進する。

III 業務運営の改善及び効率化に関する目標

1 運営体制の改善に関する目標

法人格を有する知のコーポレーションとして持続的な発展を図るため、自らの使命と設定した目標を達成する合理的な意思決定システムを構築し、その効率的運営を目指す。また、大学資源の総合評価を行い、長期、中期、短期の経営計画の下に、それぞれの目標に向けた資源の戦略的配分を行う。

2 教育研究組織の見直しに関する目標

大学教育、学術研究の進展や、社会的ニーズに対応し、適切な点検・評価に基づき、全学的に教育研究組織を見直す。

3 人事の適正化に関する目標

- 1) 公正かつ適正な評価システムを導入し、業績や貢献度が正当に評価される人事システムを構築する。
- 2) 多様な人材からなる多様な価値観を共有することのできる組織づくりを行う。
- 3) 「行政改革の重要方針」（平成17年12月24日閣議決定）において示された総人件費改革の実行計画を踏まえ、人件費削減の取組を行う。

4 事務等の効率化・合理化に関する目標

教務事務をはじめ各種事務の情報化を段階的に推進し、事務処理体制の効率化及び迅速化を図るとともに、事務部門を適切に編成し、合理的な事務執行体制を確立する。

IV 財務内容の改善に関する目標

1 外部研究資金その他の自己収入の増加に関する目標

科学研究費補助金の申請率及び交付決定率を向上させるとともに、受託研究、奨学寄附金等の外部資金の増加を図る。また、大学施設の活用による自己収入の増加を図る。

2 経費の抑制に関する目標

組織運営の効率化により経費の抑制を図る。

3 資産の運用管理の改善に関する目標

資産の効率的・効果的運用を図る。

V 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標

1 評価の充実に関する目標

全学的評価システムを強化・充実させることにより、自己点検・評価及び外部評価を計画的かつ適切に実施し、評価結果を積極的に公表して、社会に対する説明責任を果たす。また、評価結果を迅速に改善・改革に結びつけるよう努める。

2 情報公開等の推進に関する目標

本学における教育研究及び運営等に関する情報を積極的かつ効果的に学内外に発信する。利用者のニーズに応えられる内容及びその提供方法を考慮し、広く双方向型情報機能を備えた体制及びシステムを立ち上げる。

VI その他業務運営に関する重要目標

1 施設設備の整備・活用等に関する目標

- 1) 全学的な視点に立った施設マネジメントを推進する。
- 2) 長期構想に基づく有効活用、維持管理及び教育・研究に必要なスペースの確保を計画的に行う。

2 安全管理に関する目標

災害時防災計画、災害が発生した場合の対処マニュアルを策定し、安全で快適なキャンパス環境保全のための体制を整備するとともに、教育研究上の安全確保のための体制を確立する。

別表 教育研究上の基本組織

(学部、研究科)

学 部	法文学部 観光産業科学部 教育学部 理学部 医学部 工学部 農学部
研 究 科	人文社会科学研究科 観光科学研究科 教育学研究科 医学研究科 保健学研究科 理工学研究科 農学研究科 法務研究科

※鹿児島大学大学院連合農学研究科に参加